

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市子育てふれあいプラザ (のびすく仙台)		
2 指定管理者	非営利活動法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク		
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和6年度 32,021人(前年度比 107.9%) 内訳 ひろば:29,441人 託児:2,580人 ※視察等:604人 令和5年度 29,667人 令和4年度 16,839人		
	《事業》 乳幼児親子の交流の場の提供、一時預かり、子育てに関する情報収集・提供等、子育てを総合的に支援する事業 子育てに関する事業を行う者(子育て支援活動団体)に関する事業、中高生に関する事業		
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 29,153千円 (28,333千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)		
	《収入》 ・ 使用料収入 5,707千円 (5,476千円) ※託児収入 ・ その他収入 88千円 (56千円)		
6 利用者の声	《実施状況》 ・意見箱の設置 ・イベント参加者に対してアンケートを実施		

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	・朝、夕のミーティングで利用者の情報共有を行い、各々の状況や対応方法を確認し、細やかな配慮ができるよう努めている。 ・職員全体の研修の機会を設け、また、外部研修への参加や法人独自の研修費助成制度の活用等、参加できる機会を多く設けている。 ・近隣の公園や店舗、アーケード内での遊び場の提供など、法人独自の取り組みを指定管理事業にも活かし、子育て支援活動の場をより広げられている。	24/21
II 施設の運営管理体制	・避難訓練は想定や役割分担を変えて実施。職員の動きや課題を確認。必要物品の補充を適切に行っている。 ・事故や災害発生時に備えた研修を実施し、対応体制が構築されている。	31/31
III 施設・設備の維持管理	・施設内の清掃を定期的に行い、利用者が快適に過ごせるよう保持されている。 ・開館前、閉館後は必要場所以外の消灯に努め、チラシやポスターの裏紙としての利用や、ダンボールで手づくりおもちゃを作成するなど、環境に配慮した取り組みを行っている。	19/19
IV サービスの質の向上	・受付窓口リーフレット等の配布資料を準備し、資料を見ながら説明するなど、分かりやすく丁寧な対応を行っている。 ・情報コーナーのチラシやイベント情報を、より見やすく手に取りやすいよう、項目別にラベルを貼る等、レイアウトの変更を行っている。 ・利用者の声は職員全体で共有し、課題や改善点について話し合いを行い、ひろばのレイアウトの変更等、速やかに対応している。	28/28
V 施設固有の基準	・配慮が必要なこどもの預かりについては、朝、夕のミーティングで密に情報共有を行い、安全に配慮している。また、関係機関と連携しながら、必要な情報提供を行っている。	9/9

三 評価総括

《指定管理者（非営利活動法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク）による自己評価》
コロナ禍で減少していたひろばの利用者が戻り、県外からの利用も増えた。利用案内は分かりやすい説明を心掛け、丁寧な対応を意識した。館内アンケートの結果では、職員の挨拶や対応など高評価をいただき、笑顔で挨拶、声がけ、細やかな配慮が評価につながった。利用者の声をもとに、レイアウトの変更も行った。 他機関と連携し協力しながらあそび場、親子の居場所づくりに積極的に取り組んだ。みやぎ生協の南光台店での出前のびすくは、参加者同士や地域ボランティア、職員と交流を育み、親子の居場所として定着した。西公園、錦町公園、街のプレーパークでは、初めて外遊びを経験する親子も多く、自然とふれあい、外遊びの楽しさを知るきっかけとなった。また、メディアテークや県庁でもプレーパークを開催し、遊び場の可能性を広げた。交流の中で何気ない会話から子育て相談につながるなど遊びと親支援の両方をサポートしてきた。更に、宮城地区との関係も深め、地域親子と交流する機会を増やし、情報提供等も行った。今後も利用者のニーズをとらえ、連携先も広げながら、親子の孤立化を少しでも軽減できるよう、交流の場や居場所を増やすなど支援していきたい。 転勤族が多い特性を踏まえて仙台ならではのイベントを開催。仙台を知る機会になり、定着化を図っていききたい。相談事業では、ひろば、イベントを通じて継続支援が必要なケースがあった際、専門家と子育て専門相談員と連携、情報共有し、継続的にひろばで見守ることができた。一時預かり事業においては、個別の配慮を必要とするお子さんの利用も多く、職員間で情報を共有、保護者や各関係機関とも連携し丁寧に対応した。職員研修や話し合う場を増やしスキルアップの向上にも努めた。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
ひろば事業では、交通アクセスのよい市中心部に位置することもあり、市外からの利用者や、両親、祖父母等の利用者が多い中、安全かつ利用者のニーズに合わせた運営を行った。また、令和6年度はお外遊びのイベント「あおぞらのびすく」、「のびすくちびパーク」「街のプレーパーク」などを多く実施。近隣の西公園や錦町公園などで開催し、初めて外遊びをする親子も多く、四季を通じて自然とのふれあいや楽しさを伝えると同時に、のびすくの周知、案内も行っている。 一時預かり事業では、平日はリフレッシュや病院、買い物での利用が多く、短時間での仕事や在宅勤務での利用も増えている。0～2歳児の利用や長時間の利用も多い中、安全な託児を行うため、予約や受付の際、既往歴やアレルギー、普段の様子等を丁寧に聞き取っている。 また、宮城総合支所地区の子育て支援機関との連携事業である「チームai子」においては、のびすくまで来館しにくい地域の実情に合わせ、当該地域まで赴き乳幼児親子の居場所の提供を行っている。また、青葉区中心市街地子育て支援ネットワーク「青葉区ご近所会議」と「宮城地区子育て応援団～こみゅ～んひろば～」については令和6年度も事務局を担い、多様な機関・団体との連携を推進している。 法人独自の取組みとして、父親向けのリーフレット、ワークライフバランスの周知本の作成と配布、それらを活用した講座を開催し、仕事と子育ての両立に対する啓発を行っている。	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども家庭部子育て応援都市推進課